

りゅうおう 議会だより

No. 143

2008.5.15

RYUOH

編集発行●滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713 (直通) (有)58-3713

春爛漫!!



● 主な記事 ●

- 平成20年度予算……………2～3
- 条例関係・補正予算・意見書など……………4～7
- 一般質問……………8～14
- 委員会報告……………15～17
- 議会傍聴記・編集後記……………18

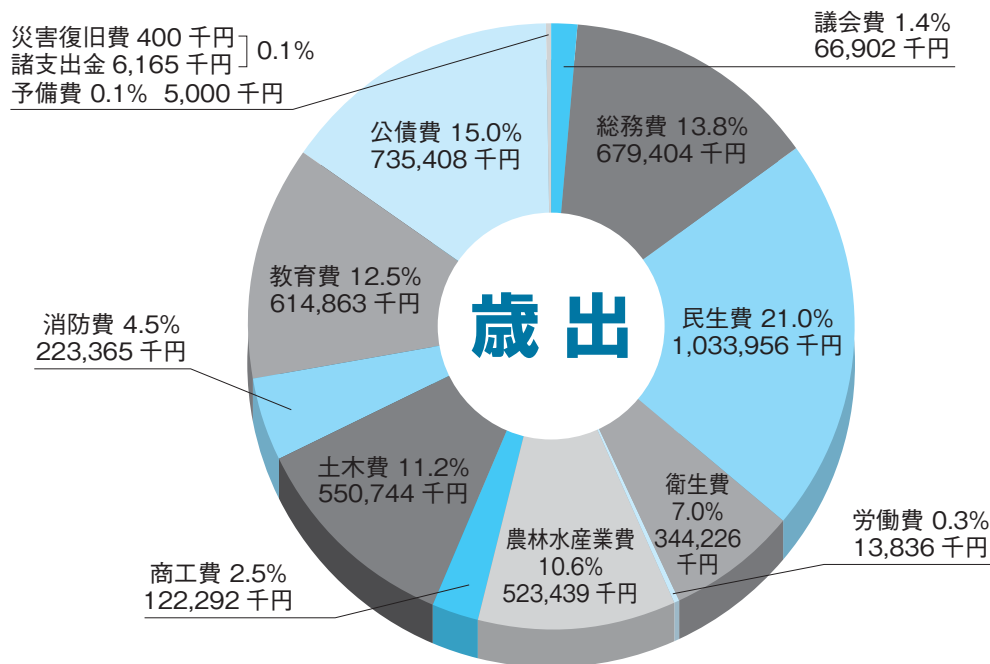
平成20年第1回定例会は3月4日から24日までの日程で開催されました。

平成20年度予算、
条例改正、
一般会計補正など

平成20年 第1回(3月)定例会

の実施に向けた積極的な展開

※特別会計予算 28億7,900万円（対前年12.1%減）



平成20年度第一回定例会は、3月4日から24日までの11日間の会期で開催された。平成20年度一般会計予算および8特別会計予算が提案され、一般会計は予算第一特別委員会に、また特別会計は予算第二特別委員会に審査を付託され、3月24日の本会議で可決決定された。

予算第一特別委員会

委員長 村田 通男

平成20年度予算は、税源委譲の実現効果や一部企業の業績が引き続き好調と見込まれることから、住民税をはじめとする税収の増が見込まれ、平成20年度における一般会計総額は前年度と比較して3.3%上回る額となっています。なお、地方交付税は4年連続で普通交付税不交付と見込まれています。

今後のまちづくりの方向性を示す大切な時期で、竜王町行政改革集中改革プランの推進をはじめ、中心核づくり、若者定住および竜王インターチェンジの活用などの柱を重点施策として、その実現に取り組み、特に中心核づくりおよびインターチェンジ周辺の開発については、まちづくり交付金事業により、具体的な取り組みがはじめられます。

主な質疑応答

問 庁舎の電子通信機器等借上料とはどのような内容か。

答 住基や税関係の電子機器の借上げは、平成20年度で期間が終了することから、住民の皆様に迷惑をかけることなくスムーズに移行していくため、準備するものです。

問 布引斎苑組合と八日市衛生プラント組合が統合されたことにより、竜王町の負担はどのように変わるのか。

答 平成20年度予算では八日市布引ライフ組合へ619万3千円となり、前年度より131万9千円の減額になります。

問 平成20年度から敬老のつどいが各自治会単位でされるということだが、補助金はどうに交付されるのか。

答 自治会単位、老人会単位等で実施された場合、1人1000円程度の補助金を交付したいと考えています。

主な意見

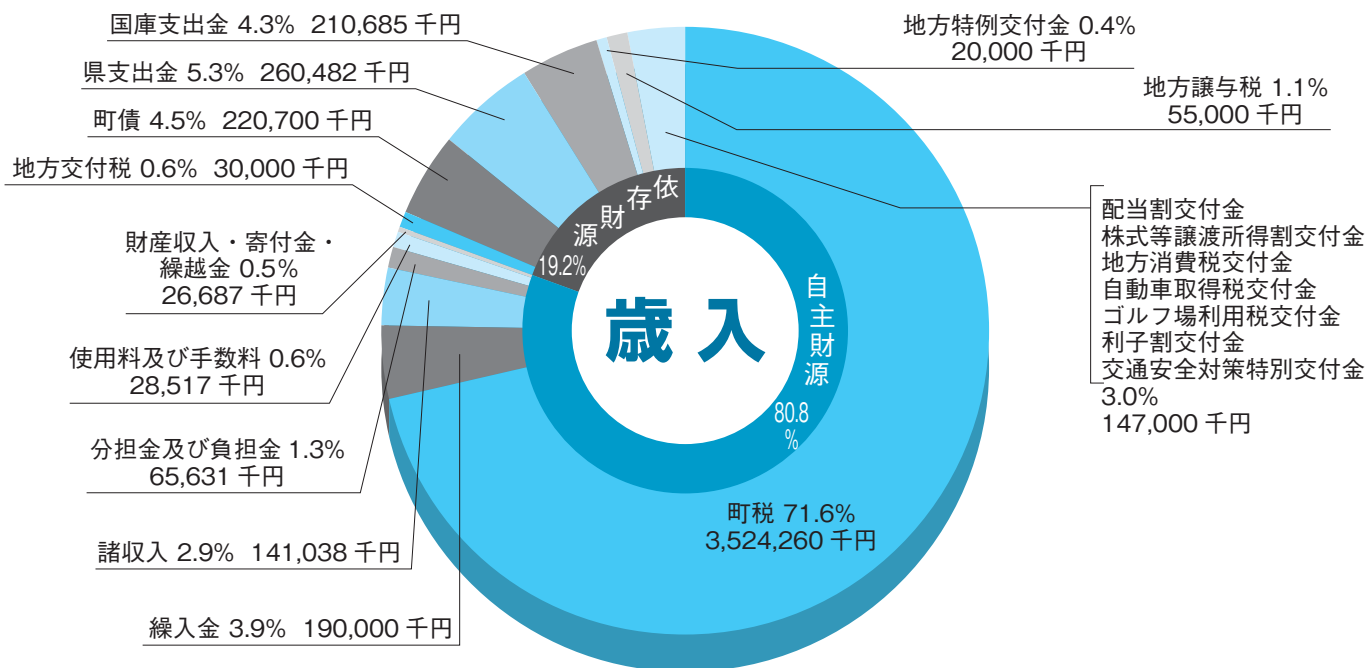
・平成20年度の組織機構については、現行の30係から35係に変更されるが、更なる住民サービスの向上に努力されたい。
・広報りゅうおうの発行については、毎月2回発行とされていたが、平成20年度からは毎月1回にされるため、内容等については更に充実していただきたい。

・町内の各教育施設の改善については、計画段階から利用者や関係者の意見をよく聞き、長期的な計画をもって建設計画を立てられたい。

20年度
予算を
認 定

町の中心核づくり 産業立地推進

※一般会計予算 49億2,000万円 (対前年3.3%増)



8.	7.	6.	5.	4.	3.	2.	1.
●町長選挙費	●第4次電王町総合計画の推進と効率的な行政改革の執行	●生活の質を高める個性豊かな薫り高い文化づくり	●新しい時代を拓く魅力ある場づくり人づくり	●健康やかに暮らせる健康福祉と子育て支援づくり	●地域再生と活力を与えるたくましい産業づくり	●快適で暮らしやすい環境づくり	●安心して暮らせる町土、即ち安全のまちづくり
●その他	●O.A事務費・機器管理費	●社会体育施設管理運営費	●後期高齢者健康事業	●健康増進事業	●タウンスンターデザイン検討事業	●自らが考え自ら行うまちづくり事業	●東近江行政組合消防負担金
●地域創造まちづくり事業	●公民館コンパニオン事業	●図書館管理運営費	●竜王小学校施設整備事業	●福祉医療費助成事業	●道路新設改良事業	●篠原駅周辺都市基盤整備推進協議会費	●小型動力ポンプ整備事業
●町長選挙費	●O.A事務費・機器管理費	●社会体育施設管理運営費	●竜王小学校施設整備事業	●健康増進事業	●道路新設改良事業	●篠原駅周辺都市基盤整備推進協議会費	●小型動力ポンプ整備事業
736万円	182万円	517万円	225万円	898万円	491万円	447万円	1億5,765万円

平成20年度主要事業の概要

備考：●新規事業 ●拡大事業

予算第二特別委員会

委員長 山田 義明

平成20年度竜王町国民

健康保険事業特別会計

(事業勘定) 予算は8億

7500万円の前年度比

6300万円の増額とな

り、主な理由は保険給付

費の3094万2千円で

す。

平成20年度竜王町国民

健康保険事業特別会計

(施設勘定) 予算は医科

では8200万円、歯科

は5700万円です。医

科に心電図装置、歯科に

X線デジタル装置を購入

予定です。

平成20年度老人保健医

療事業特別会計予算は1

億3500万円です。老人保

健医療制度は、新たに平

成20年度より後期高齢者

医療制度が施行されるに

伴い3月末をもって終了

となり、3月診療分の医

療給付費等の計上のみと

なりました。

平成20年度竜王町学校

給食事業特別会計予算は

5700万円、児童・

生徒数の減少により10

0万円の減額です。

平成20年度竜王町下水

道事業特別会計予算は10

億5100万円です。下水道

高資本費対策として借換

債が2億3910万円計

上されています。

平成20年度竜王町介護

保険特別会計予算は5億

3100万円です。地域支援

事業費は700万円の増

額となっています。

平成20年度竜王町後期

高齢者医療特別会計予算

は9100万円です。今年の

4月より後期高齢者医療

制度が施行されるに伴い

新たに設置されたもので

す。

平成20年度竜王町水道

事業特別会計予算は3条

予算の収益的収入及び支

出の予定額は3億円、4

条予算の資本的収入は8

120万円、資本的支出

は1億3195万3千円

で、その差額5075万

3千円は減額積立金、建

設改良積立金、当年度分

損益勘定保留資金、当

年度分消費税資本的收支調

整額で補填されます。

3月定例会

付託案件

総務産業建設常任委員会

委員長 山田 義明

◎竜王町職員の管理職手

当について、人事院勧告

により定率制から定額制

に移行するもので、国の

基準を参考に職ごとに額

を定め、管理職手当の支

給については100分の

18を超えない範囲で職責

にあった管理職手当額を

規則で定め支給するもの

であります。

※主な質疑応答

問 管理職手当総額の経

年変化の状況は。

答 平成16年度は220

0万円でしたが、平成17

年度に支給率の改定を行

い1532万円に減少し

ました。

組織の再編成等で管理職

数も減少し、平成19年度

は1278万円になりま

す。今回の改正で平成20

年度は1502万円を見

込んでいます。

(全員賛成で可決)

◎町道の占用料の額につ

いては、道路法及び道路

法施行令に基づき、国が

管理する道路における占

用料等と整合した額で定

められており、政令が平

成20年1月18日に公布さ

れ、4月1日から施行さ

れるに伴い改正するもの

です。

また、法定外公共物の

管理においても、一部道

路占用料徴収条例に合わ

せた形で使用料を徴収し

ており、この使用料につ

いても額を改定し、道路

占用料徴収条例と整合し

た額とするものです。

(全員賛成で可決)



道路肩を占用する電柱

◎平成19年度竜王町下水
道事業特別会計補正予算
(第4号)は、680万
円を減額し、歳入歳出予
算の総額を7億7930
万3千円に改めるもので
す。

主な内容は、平成19年
度の執行調整によるもの
で、各種負担金の確定に
伴う減額や、事業費の組
み替え等による減額です。

※主な意見

◎本町の下水道布設工事
の予定は、概ね平成22年
度には完了すると聞いて
いるが、工事が計画通り
進むよう対応されたい。
◎下水道工事の関連もあ
ると思われる路面の凹凸
などの道路整備の地域要
望に対し、適切に対処さ
れたい。

(全員賛成で可決)

特別会計予算概要

会 計 名		予算額 (万円)	前年度比較	
			増減額(万円)	増減率(%)
国民健康保険事業(事業勘定)		8億7,500	6,300	7.8
国民健康 保険事業 (施設勘定)	医科	8,200	△600	△6.8
	歯科	5,700	600	11.8
老人保健医療事業		1億3,500	△7億9,500	△85.5
学校給食事業		5,700	△100	△1.7
下水道事業		10億5,100	2億4,400	30.2
介護保険		5億3,100	200	0.4
後期高齢者医療		9,100	9,100	皆増
水道事業	収益的収入及び支出	3億	△600	△2.0
	資本的収入及び支出	1億3,195	△8,755	△39.9



公共下水道工事（薬師地先）

査委員から2年ほどで処分をしてはどうかと指摘を頂いております。

※主な意見

○小口地区加圧ポンプ場は、松が丘や小口工業地

域等への進出企業に水を供給する重要な施設であるため、計画通り確実な工事が実施されるよう要望する。

（全員賛成で可決）

平成19年度 竜王町一般会計補正予算

のか。

答 行方不明者で5年間居住先がわからない場合に処分していましたが、本年度の監査において監

平成19年度竜王町一般会計補正予算（第6号）は6億5151万円を追加し、歳入歳出予算総額を56億7714万8千円に

改めるもので、総務産業建設常任委員会に審査を付託され、3月14日の本会議において全員賛成で可決成立しました。

教育民生常任委員会

委員長 岡司 重夫

付託案件

○平成20年4月1日より後期高齢者医療制度が実施されることに伴い、保険料の徴収や被保険者の便益の増進に奇与するものとして、政令で定める事務については、町が行うこととなることから、これらを定めた竜王町後期高齢者医療に関する条例を制定するものです。

た場合に、国民健康保険での支給を制限する条文を改め40歳以上74才までの被保険者、被扶養者の特定健診、保健指導が義務化されることにより、条文整備を行うものです。

※主な質疑応答

問 特定健診の内容は。

答 40歳以上74才までの被保険者、被扶養者を対象としたメタボリック症候群といわれる内臓脂肪型肥満に着目した健診で、保健指導もあわせて実施します。

※主な質疑応答
問 後期高齢者医療制度の説明会で、高齢者の理解は得られたのか。
答 大半の方は、やむを得ないという反応でした。（賛成多数で可決）

○竜王町国民健康保険条例の一部を改正する条例は、健康保険法の一部を改正する法律の施行により、出産育児一時金、葬祭費の支給について、他の医療保険で給付を受け

国民健康保険で町が1300円負担していましたが、今後1000円の受益者負担をお願いすることになります。（全員賛成で可決）

※主な質疑応答
問 不能欠損処分はどのような基準で行っている

平成19年度一般会計補正予算(第6号)の主なもの

歳入

○前年度繰越金	1億2,656万円増額
○法人町民税	4億円 増額
○固定資産税	1億7,850万円増額
○農村総合整備事業県補助金	227万円増額
○地震ハザードマップ作成事業国庫補助金	225万円減額
○障害者働き暮らし応援センター県補助金	319万円減額
○福祉医療高額療養費戻入	1,018万円減額
○埋蔵文化財発掘調査費	1,137万円減額

歳出

○財政調整基金積立金	4億5,200万円増額
○減債基金積立金	5,000万円増額
○教育厚生施設等整備基金積立金	2億円 増額
○工業用地整備計画策定業務委託料	1,300万円減額
○児童手当（扶助費）	1,043万円減額
○下水道特別会計操出金	463万円減額
○中学校第二体育館解体事業費	493万円減額
○埋蔵文化財緊急発掘調査事業	707万円減額

繰越明許費

○農村総合整備事業（広域圏域型）	1,252万円
○埋蔵文化財発掘調査受託事業	168万円

地方債補正

○臨時地方道整備事業債	820万円減額
○防災まちづくり事業債	220万円減額

度により、医療費の支給を若人分として明確にすることから、支援金の税率を制定するものであります。

を講ずることができるよう条例の改正を行うものです。

（全員賛成で可決）

さらに、国民健康保険から後期高齢者医療制度に移行されることにより、国民健康保険税が大幅に増額となる世帯等について、税額負担を緩和するよう条例を改正するものです。

※主な質疑応答

問 平成19年度から平成21年度の間に保険税が引き上げられる率はどれくらいか。

答 平成19年度と比較して20年度は12・7%、21年度は20・8%の引き上げ率となります。

（賛成多数で可決）

◎平成17年度の税制改正により介護保険の保険料が大幅に上昇する方について、平成18年度、19年度において激変緩和が講じられてきたが、引き続き平成20年度も緩和措置

◎平成19年度国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）1816万1千円を追加し、歳入歳出予算総額を9億2617万5千円に改めるもので、歳入補正の主なものは、療養給付費等の交付金2798万円の増額、歳出補正の主なものは、一般被保険者療養給付費1000万円の増額です。

※主な質疑応答

問 一般被保険者療養給付費等が増額補正されたが、実績はいくらか。

答 昨年12月までの実績で、一般被保険者療養給

付費が2億6500万円、退職被保険者等療養給付費が1億4400万円、一般被保険者高額療養費は、11月までで2140万円となっています。

（全員賛成で可決）

◎平成19年度老人保健医療事業特別会計補正予算（第4号）は7015万円を追加し、歳入歳出予算総額を10億1811万1千円に改めるもので、歳入補正の主なものは、支払基金交付金3684万4千円の増額、歳出補正の主なものは、老人医療費負担金7000万円の増額であります。

※主な質疑応答

問 老人医療費負担金が大幅な増額となっているが、対策はないのか。

答 予防が大切ですが、入院患者が増加し、高額の治療費となっています。しかし、竜王町の老人医療費は県下でも2番目に少ない方です。

（全員賛成で可決）

◎平成19年度介護保険特別会計補正予算（第4号）は1830万8千円を減額し、歳入歳出予算総額を5億3129万1千円に改めるもので、歳入補

正の主なものは、介護給付費国庫負担金678万7千円の減額、繰越金1758万7千円の増額です。

歳出補正の主なものは、介護サービス等諸費660万円の減額、介護予防サービス等諸費645万円の減額です。

（全員賛成で可決）

その他の案件

◎竜王町行政手続条例等の一部を改正する条例。
第1条から第8条において文言の整備を行うものです。

（全員賛成で可決）

◎竜王町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例。

薬剤師の報酬を、年額

一校（園）48000円を年額一校75000円、一園50000円に改めるものです。

（全員賛成で可決）

◎竜王町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例。

◎竜王町老人福祉医療費助成条例の一部を改正する条例。

竜王町福祉医療費助成条例と同じく法改正に伴い、文言の整備を行うものです。

例：「老人保健法」を「高齢者の医療の確保に関する法律」に改める。
（全員賛成で可決）

◎竜王町国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例。

同条例に、

「診療所は、要介護認定および要支援認定を受けた者に対し、居宅介護サービスを行う。」

「サービスを受けた者に、対する費用は、介護保険法の規定により算定した額とす

る。」等を加えるものです。
（全員賛成で可決）

◎竜王町手数料徴収条例の一部を改正する条例。

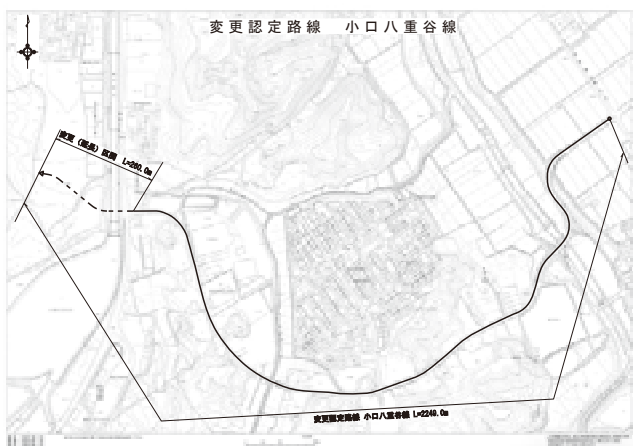
戸籍法の改正に伴い戸籍謄本等の交付規定を整備するものです。

（全員賛成で可決）

◎町道路線の変更。

町道小口八重谷線を260メートル延長し、2249メートルとするものです。

（全員賛成で可決）



第一回臨時議会

平成20年1月29日

意見書

◎竜王町長期継続契約を締結することができる契約に関する条例

地方自治法施行令に基づき定めるもので、

(1) 庁舎等の設備点検、警備等に関する契約。

(2) 自動車の借上げに関する契約。

(3) コピー機、印刷機他、事務機器の借上げ・保守に関する契約。

等で、契約期間は5年以内とするもの。

(全員賛成で可決)

◎平成19年度一般会計補正予算(第5号)

828万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を50億2563万8千円に改めるもの。

歳入補正予算の主なもの
・集落ぐるみ産地育成推

進対策事業県補助金

819万5千円の増額。

歳出補正予算の主なもの

・集落ぐるみ需給調整対策補助金

819万6千円の増額。

・民俗芸能資料保存会補助金(山之上・ケンケト祭りの全国大会出場)

9万3千円

債務負担行為補正(契約が複数年にまたがるもの)

・がん検診業務

700万6千円

・若年健康診査業務

245万9千円

・後期高齢者健康診査業務

262万5千円

・町立幼稚園学校・児童生徒職員健康診断業務

228万3千円

・町立幼稚園小学校通園通学児童輸送業務(3

年間の契約)

5333万7千円

(全員賛成で可決)

◎平成19年度国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)

3837万3千円を追加し、歳入歳出予算総額を9億801万4千円に改めるもの。

(退職被保険者等療養給付費の増加によるもの)

債務負担行為補正

・特定健康診査業務

590万円

(平成20年4月よりスタートする特定健診の準備で、3月中に契約するため)

(全員賛成で可決)

◎平成19年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算総額は変更せず、債務負担行為補正として、

・生活機能検査業務

245万7千円を増額するもの。

(日常の運動機能が低下した65歳以上の人に対する検査)

(全員賛成で可決)

道路特定財源の暫定税率の維持と道路財源の確保を求める意見書

(賛成多数で可決)

1. 道路整備の安定的な財源確保のため、道路特定財源に関する諸税の暫定税率を10年間延長すること。

2. 平成20年度以降も地方道路整備臨時交付金制度を継続するとともに、未だ整備が不十分である地方への道路特定財源の配分割合を高めるとともに、地方における道路整備財源の更なる拡大を図ること。

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
国土交通大臣
経済財政政策担当大臣 宛

3月定例会

一般質問

一般質問は3月19日に行われ、通告のあった10人の議員から19問の質疑と当局による回答がありました。
本ページから13ページ上段まで、各議員の代表的な質問を一つ、登壇順に掲載しております。
また13ページ下段からその他の質問も掲載しました。是非お読みいただき、ご意見やご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

- | | |
|--|----------|
| ①町道西川ため池線の歩道設置について…………… | 大橋 弘 議員 |
| ②地球温暖化対策の取り組みについて…………… | 村田 通男 議員 |
| ③国道477号の整備について…………… | 貴多 正幸 議員 |
| ④総合運動公園グラウンドの照明設備について…………… | 菱田 三男 議員 |
| ⑤祖父川東部に広がる一団農地の消費者に
近い農業施策について…………… | 小森 重剛 議員 |
| ⑥学校施設におけるトイレの改修について…………… | 蔵口嘉寿男 議員 |
| ⑦これからの住宅施策について…………… | 岡山 富男 議員 |
| ⑧道の駅アクセス道路事業着手のめどは…………… | 図司 重夫 議員 |
| ⑨農業総合整備事業・広域圏域型について…………… | 山田 義明 議員 |
| ⑩農業施策の充実を…………… | 若井 敏子 議員 |

問

この道路は竜王北部地区のほ

場整備事業により、町道巡検線と国道477号を結ぶ北部地区の幹線道路として整備されました。その後、山面地先に歩道付き道路が完備し、弓削地先にも歩道が設置され、この沿線で歩道のないのは西川地先だけであります。

今やこの道路は国道8号のバイパスを思わせる交通量があり、1時間当たり770台からの大型車両等の通行があり大変危険であることから、早期の歩道設置が求められています。この考えを伺う。

答

この道路の歩道設置については、現在祖父川と善光寺



町道西川ため池線の歩道設置について

答全体の枠組みの中で検討します

大橋 弘 議員



歩道設置が求められています

川の橋には歩道がない橋となっており、連続性のある歩道計画とするには多くの課題もあります。今後、竜王町の町づくりの動きの中で、竜王インター周辺の開発、篠原駅駅舎周辺整備等により、この道路の利用は益々拡

大するものと思われます。このことから、現状の財政状況では難しい面もありますが、今後の道路整備事業等により対応できるよう、町全体の枠組みの中で検討してまいりたいと考えております。

地球温暖化対策の 取り組みについて

村田 通男 議員

毎年約15トンのCO₂削減をしております



問

今、地球規模でCO₂削減に向けて取り組みについて激しく議論されています。竜王町でも廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料（BDF）を公用車に使用され成果を上げておら

答

もらえないのか。

滋賀県では、地球温暖化推進

計画を策定し、平成22年度までに平成2年度比9%の削減目標を設定され、同計画において全事業所の省エネルギーと共に地域住民の省資源型ライフスタイルへの移行の協力要請をされています。竜王町ではBDFを年間約6000リットル製造しています、このことか



廃食油のリサイクル燃料製作所

ら竜王町は年間約15トンのCO₂削減をしていることになりました。内訳は年間公用自動車約3トン、トラクター農家約5トン、コミュニティバス・スクールバス約8トンのCO₂削減をしています。また、エコライフメニューとしても多くの成果を上げて頂いています。

問

国道477号の近江八幡市と

竜王町の境界付近は、車道が急激に狭くなっており、街灯については近江八幡市側も竜王町側にも設置されていません。

篠原駅の改築工事が着手の見込みとなり、平成24年度から25年度に新駅の供用開始が予定されています。こうしたことを考えると国道477号の車道および歩道の整備、また、街灯の設置について早急に整備する必要があると考えるが、町としてどのように考えているのか伺う。

答

歩道を含む拡幅工事につきましては、竜王町と近江八幡市の境界付近で該当する用地が、公図の混乱と

国道477号の整備について

要望しています

貴多 正幸 議員



用地確定が極めて難しい状況から、買収まで至らない状況であり、現時点でも見通しの厳しい状況であります。

また、道路照明灯の設置につきましては、昨年に近江八幡市と歩道を併せて道路管理者である県に對し要望してまいりましたが、道路交差点等危険箇所のみ安全のため設置を考えており、道路沿線には道路照明灯は設置できないとの回答でありました。

このような状況ですが、篠原駅の駅舎改築工事がようやく着手の



急激に狭くなる車道

見込みとなり、国道477号の整備、また新設の道路アクセスの検討もされることとなっております、これらの整備検討の段階から、自転車・歩行者の安全を考えた歩道の拡幅整備、道路照明灯の設置について要望してまいりたいと考えております。

総合運動公園グラウンドの 照明設備について

菱田 三男 議員

答調査検討いたします



問

竜王町川守地
先にあります農村
運動広場については、平
成20年度に照明設備の整
備が計画されていますが、
総合運動公園の多目的広
場については、照明設備
が設置されていません。



屋外多目的グラウンドに照明を

答

多目的広場の
照明設備について

竜王町の総合的な運動
公園として多種多様なス
ポーツが楽しめ、また利
用される方も増加してい
ると聞きます。
さらに、利用されている
方から夜間の使用をした
いと希望があります。
総合運動公園の多目的広
場の照明設備の設置につ
いてどのように考えてお
られるか伺う。

は、既設の受電施設から
の電力配給では容量不足
となり、新たに整備する
必要が生じます。そのた
めには、多額の経費が必
要となりますので、財政
状況、住民ニーズ等を見
極めながら、調査検討を
重ねていきます。

問

一団農地の水稻、
麦、大豆、蕎麦は
果樹や野菜とは異なり大型
機械に依存していることか
ら消費者に直接近づきがた
い状況であります。生産
過程を見ていただき如何に
安心安全であるかの確認を
いただくためにも、一団農
地である農産物のほ場が見
えた販売所と参加型農業の
休憩所も兼ねた施設が必要
であると考えますが、町当
局の考えを伺う。

答

我が国の食料自
給率が40%を切る
という現況下と、輸入食品
による中毒事件等の反響も
加え、消費者の農産物に対
する安全安心志向への高ま
りが一層強くなるとともに、
消費者と生産者とを結びつ
ける参加型農業も強く必要
とされています。



祖父川東部に広がる一団農地の
消費者に近い農業施策について

答土地利用について検討をしてまいります

小森 重剛 議員

こういったことを踏まえ、
本町では山之上アグリパー
クに直売所、道の駅竜王か
がみの里に農産物の直売所
を設け、町内の農家で生産
された果樹、野菜、花木等
を新鮮な状態で消費者の皆
さんに提供しております。

また、参加型農業への取
り組みでは、着地型観光事
業の一つとして都市農村交
流対策事業により、田んぼ
のオーナー制による田植え
、草取り、収穫体験などを通
じ竜王のお米に代表する当
町農産物についての安心安
全への理解と購買拡大を図
っております。

さらに民間主体では、竜
王町そば振興会がそば打ち
体験教室を通じておおくの
消費者とのつながりを強め
、近江竜王そばのブランド確
立に向け、各所に出店、販



何とかしよう。この美田を!!



学校施設における トイレの改修について

蔵口 嘉寿男 議員
答 学校施設全体の改修として検討していきます

問

幼稚園、小学校のトイレや周辺の水周りは、建設当時のままで老朽化が目立っている。

下水道の普及でどの家庭でも洋式トイレを使用しており、幼い子供ほど適応できないのではないのか。

将来を担う子供達の教育施設の整備は何にも増して充実してほしい。

今後における園、学校別のトイレ改修の年次計画について伺う。

答

トイレの洋式化については、幼稚園、小・中学校のそれぞれ発達段階に応じた環境づくりが必要であると考えています。

竜王幼稚園と竜王小学校は、大規模改修後、間



竜王幼稚園トイレの現況

もなく20年を迎え、竜王西幼稚園と竜王西小学校は、建設後20年を経過しており、設備等の老朽化が目立つようになってきています。

トイレの改修のみの対応に終わることなく、学校施設全体の改修として

補助事業を含め検討していきたいと考えています。施設の充実、整備に向けた建設計画は、平成23年度に竜王小学校、平成24年度に竜王幼稚園、平成25年度以降に竜王西幼稚園と竜王西小学校として

これからの住宅施策について

岡山 富男 議員

答 答前向きに取り組んでいきます



問

第5次総合発展計画の中では、

10年計画で現在の人口より1500人の増を計画されていますが、これからは企業の進出・企業の拡大・三井不動産によるアウトレットモールの進

答

出によって、町内に住居をかまえた方が、多くなると思います。新しい宅地の提供の考えはないのでしょうか。

このことを基本に、中心核整備等、若者定住を含めた総合的まちづくりを具体化したいと考えています。また、町内には大手企業を含む企業が操業しており、その殆どの企業から若い従業員が定住出来る社員住宅を望まれています。昨年国の同意をいただいた企業立地促進法に基づく産業集積に基本計画においても一定の位置付けをし、新たな企業進出も含め、情報交換を継続していきたいと考えていきます。



これからの住宅・公園



道の駅アクセス道路 事業着手のめどは

【司】 重夫 議員

【答】平成21年度から22年度を予定しています

問

道の駅「竜王
かがみの里」に
通じる道路として、国道
以外には「ルシアン竜王
レース」の敷地内を通行
している状態である。
土地確定作業の進捗と見
直し、道路建設等の計画
および事業費、財源につ
いて伺う。

答

この道路は、
町道鏡七里線か
らルシアン竜王レースの
西側を通り国道8号に通
じる延長約550mの道
路であります。

平成13年度より、測量、
設計、官民境界確定作業
を実施してきました。

今日まで年月を要してい
る原因として、現地と公
図が合わないことにより、
境界確定が成立しなかつ
たことが大きな要因です。

そこで18年度、19年度

においては、公図等の整
理を行っており、今年度、
その整理を終えることか
ら、20年度においては官
民の確定に引き続き、
民々境界確定を実施する
予定です。

着手については用地買収
の進捗状況によりますが、
平成21年度から22年度を
予定しています。財源は、
道路補助事業等に対応し、
約3億5千万円を見込ん
でおります。

全ての境
界が確定
すること
から、道
路用地の
面積を積
算します。

また、

文化財調
査の結果、
道路法線
について、
再検討す
る場合も
あります。

事業の



道の駅アクセス道路予定地（鏡地先）

農村総合整備事業・ 広域圏域型について

山田 義明 議員

【答】「むらづくり交付金」で対処したい



問

本事業は平成
13年度より実施
され今日に至っています
が、以前より計画され残
っている事業と計画の変
更や追加等も含めた今後
の整備計画について伺う。

答

平成17年度に
は蒲生町と共に
残存事業等の内容見直し
を行い、国に事業計画の
変更を申請し、現在、事
業総額を19億6100万
円で、そのうち竜王町

6億6485万5千円と
して、事業を認めていた
だいている。近年の農業
情勢が急変する中、当事
業制度については、完了
までに相当の年月を要す
ることや、事業内容等も
大きく変更されることな
どから、広く国民の皆様
の同意を得ることが難し
くなり、
新たに創
設されま
した「む
らづくり
交付金」
事業に移
行される
こととな
り、未着
手事業に
つきまし
ては「む
らづくり
交付金」
事業で対応することとし
国・県の審査を願ってい
るところです。
また、本事業全体につき
ましても平成21年度をめ
どに完了するよう指示を
受けていますことから、
残された事業種目を速や
かに施行できるよう地元
関係者と調整を行ってい
るところです。主な当町
の未達成事業としては、
広域集落農道整備
2365m及び環境管理
施設として計画している
コンポスト施設整備6箇
所となっております。



整備された農道

農業施策の充実を

審検討していきます

若井 敏子 議員



問

農業と農家の生活は大変。農業を続けたい人やりたい人全てを応援すべきではないか。「農業再生プラン」についての町長の意見を伺う。

地産地消を食育推進基本法の観点で進められないのか。

答

品目横断的経営安定対策、米政策改革推進対策、農地・水・環境保全向上対策の農政3改革が、これからの農業振興の決め手となると期待されています。竜王町としては、優良農地の確保と農地流動化推進。アグリパーク竜王構想の着実な推進等、集落営農のリーダー認定農業者や農業後継者の育成指導などに取り組んでいます。

す。

竜王町では20集落で集落営農が取り組まれています。内容は米の生産調整に係る転作の協業で、国の補助金があることや地形的な利便性もあつて、ほとんどの集落営農が黒字です。認定農業者も黒字経営と伺っています。

町内営農組

織に対する補助金については現在、県の市町総合振興補助金を受けて農業機械導入の意向検討を行っています。これには町としても10%の上乗せ補助をさせていただきます。



家族揃って田植えの準備「忙しくなりますね。」

地産地消については町として積極的に行っています。学校給食に提供するための野菜の生産計画は、ハウス栽培が求められることから大きな課題ですが、町内食品企業からの契約栽培の申し入れもあり、検討していきます。

こんな

質問も

質問

しました

問

通学路となつていてる祖父川堤防法面の竹等の伐採について伺う。

大橋 弘議員

答

堤防の舗装部より1メートルの雑草等については、刈取りをしていただき安全面に配慮しています。道路整備や防犯灯の設置については、今後も危険箇所を整理し、関係機関との連携を図り、環境の改善に努めてまいります。

また、今年度、青少年補導委員会で子供達の下校時にパトロールを行う体制も取り組んでいただいています。

問

通学道路である県道綾戸東川線の道路整備対策について伺う。

小森 重剛議員

答

県道綾戸東川線は、交通量においても町内2番目となっており、この様な状況から交通安全対策として歩道の幅員内での歩行者と自転車の分離ライン設置、及び歩道と車道の境界ブロックを高くする工事等が順次行われています。また、今年度、青少年補導委員会で子供達の下校時にパトロールを行う体制も取り組んでいただいています。

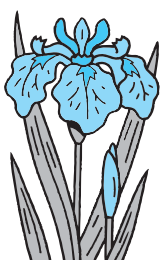
問

東近江ふるさと基金には竜王町分として9000万円拠出しており、基金支出のめどがない現在、基金を解散して拠出額に応じて返還すべきだと考えるが、その見通しについて伺う。

蔵口 嘉寿男議員

答

東近江行政組合では、来年度において広域行政の進め方やふるさと基金について協議することになっており、竜王町としても十分な議論をして、その結論を求めたいと考えています。



問

町内の道路整備を少しずつ進められていますが、いまだに歩道が途中で途切れていたり、通学・通勤に利用される道路に街灯がついていない所が多く見受けられます。今後のアクセス道路整備について伺う。

答

岡山 富男議員
道路整備は、地域住民皆様の生活の向上、活性化するうえ重要な要因で、道路網計画は20年度から再検討を進めていきたいと考えています。

問

町職員削減による業務の効率化対策について伺う。

答

岡司 重夫議員
国の基準である平成17年4月1日を基準日として、5年間で140人から133人へ削減する目標を定めております。事務の効率化や、民間への事務委託、臨時・嘱託職員

の雇用等総合的に対策を講じ、より効率的で効果的な行政サービスの提供ができるよう改革を進めてまいります。

問

町長2期目の出馬について伺う。

答

山田 義明議員
町民皆様方の深いご理解とご支援をいただきながら、町づくりに邁進させていただき、県内外からも羨望される町竜王町を維持してきたところでありますが、誠に勝手気ままなことを申し上げ、申し訳ございませんが、今期限りで退任をさせていただくことを硬く心に決めておりますので、お許しいただきご理解賜りますようお願い申し上げます。

問

国保税の値上げは、町民生活に大きな影響となる。この際、国保税や医療費の

減免制度など、創設すべきではないか。

答

若井 敏子議員
国保法第44条に基づく減免規定の「特別な場合」とは災害による被害、干ばつ等による収入の減少などで、これに関する条例は25市町で、取り扱い基準や内部規定は26市町で定めがありません。国保も県下で統一したサービスが実施されるよう滋賀県国保問題研究会に要請していきます。

問

後期高齢者医療制度の減免規定は？保険料は今後増えていくのか？健診内容は？激変緩和の対象は？障がい者は？問題はどこにあるか。

答

若井 敏子議員
この減免は、介護保険制度を基本にしています。今後高齢者の保険料負担が増える要素は医療費の増加によるものが多いと思

問

学習障害、軽度発達障害などかつてない障がいをもった子どもが増えている。実情に応じて予算も確保し、取り組みを強められないのか。

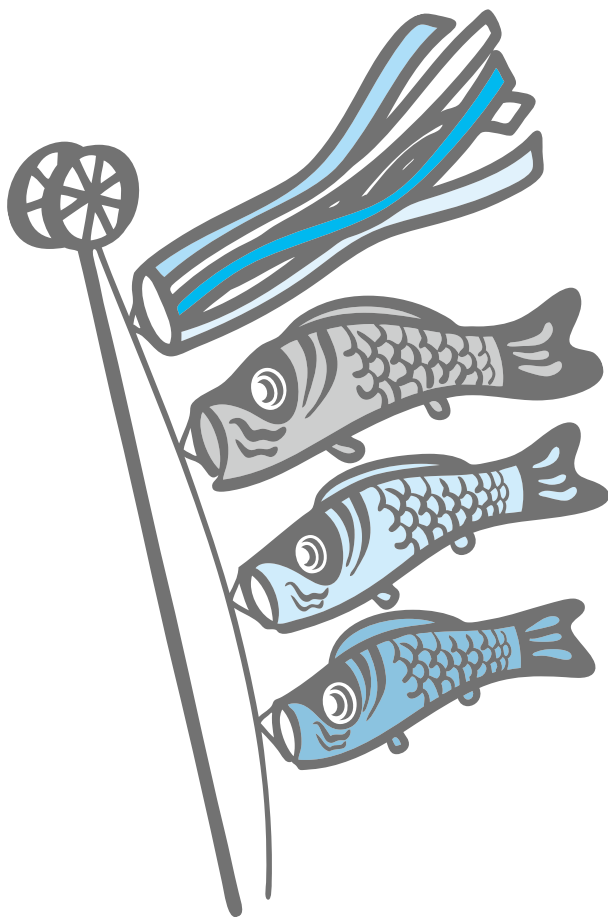
答

若井 敏子議員
竜王町では3年前から特別支援教育を実施し、各学校に相談員、スクールケアサポーターを派遣し、広範囲な教育として進み始めています。

次年度は保幼小中の連携を強め、保護者との話

し合い、協力、研修・研究を積み重ねていきます。これらをすすめるについては教師と支援員の配置などの予算措置として各学校に140万円を計上しています。

また、次年度からは教育支援室を発達支援室に移行し、乳幼児期から就学期、就労にいたるまでの支援体制を作ります。温かい多くの目と心に見守られ、ゆっくり、確実に育つ環境づくりをすすめてまいります。



各委員会報告

総務産業建設常任委員会

委員長 山田 義明

所管事務調査

本委員会は2月25日に日野川土地改良区の水利施設を視察研修しました。第1段揚水機場では「ストックマネージメント事業」により機械電気機器類の整備中でした。中央管理所において改良区の

施設全般の説明を受け、蒲生頭首工・蔵王ダムをまわりました。
また、3月10日次の事項について調査しました。

○ごみの分別収集等について生活安全課より次のような報告を受けました。
・竜王町の分別種目は16



日野川農業水利第1段揚水機場

種類で、空き瓶はリサイクルに、有価資源は売却しています。

・各自治会のごみ集積所の実態調査について、特に改善が必要な点はごみ袋に氏名記入の無い集落や設置場所によりまったく記入の無いところがあり、全般的に氏名記入が徹底されていないことがわかりました。

○日野川における洪水予報について建設水道課より次のような報告を受けました。

・日野川における洪水予報等防災情報体系が平成20年度より水位名と洪水予報名、連絡方法等が変更されます。水位は安吉橋もしくは桐原橋での水位観測をもとに、危険度のレベルに応じ発令されます。

○行財政改革について、政策推進課・総務課より次のような報告を受けました。

・職員定数の削減については、本年度目標134

人に対し136人となりましたが、一般行政職では21人の退職者に対し新規採用が11人で10人の減となっています。

・給食センター施設は、老朽化も進行しており施設の改修も必要です。

○第三セクターの経営統合について、産業振興課

・建設水道課より次のよう報告を受けました。

・(株)アグリパーク竜王と(株)竜王かがみの里の経営統合については、新会社設立を目的として、新しい組織の必要性、地域経済の活性化、利益の地域還元、連携する組織体の形成を図るとされています。



安吉橋水位観測地点

教育民生常任委員会

委員長 岡司 重夫

所管事務調査

教育民生常任委員会は
2月14日、次の事項につ
いて調査しました。

竜王小学校、竜王西小
学校、竜王幼稚園、竜王
西幼稚園の学校経営（幼
稚園経営）管理全体計画
（構想）の説明を受けま
した。

学校、園ともにタテ割
り活動で上級生が下級生
の面倒を見る、また、体
験学習、自然体験にも重
点を置かれています。

また、弓削ふれあいプ
ラザ（介護予防拠点施設）
やまびこ作業所とグルー
プホームやまびこ、ひま
わり保育園（延長保育・
乳児保育・一時保育の実
施）を視察しました。

3月11日、次の事項に
ついて調査しました。

学務課 平成20年度教
育行政執行方針に基づく

各学校の園の具体的な取り
組み、施策の重点と具体
的努力事項について説明
を受けました。

主な質疑応答

問 ヘルメット、黄帽子
の着用はどうか。

答 現在、ヘルメット、
帽子の着用が100%で
ないので、地域の方も子
供たちに着用の声かけを
していただきたい。

健康推進課

健康いきいき竜王21プ
ラン後期計画について説
明を受けた。

昨年9月に実施された
健康に関する住民アンケ
ート結果、人口、出生率、
死亡数の動向、基本検診
等について評価され、見
直しの要点がまとめられ
ます。



やまびこ作業所にて

地域創生まちづくり特別委員会

副委員長 村田 通男

3月18日午前9時より、
山口町長、担当職員の出
席を求め委員会を開催し
ました。

事前に通告をしていた
事項にそって質疑、討議
を行いました。

竜王インターチェンジ周
辺のまちづくりについて

（仮称）竜王商業施設
開発計画について、次の

ような説明を受けました。

事業区域は、竜王町大
字薬師字砂山地先で、事

業区域の面積約18ヘクタ
ールは市街化調整区域の
特定保留区域です。

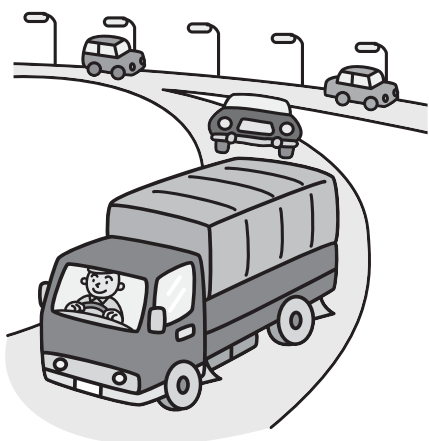
事業計画の概要は、建
築面積…約35,600
㎡、延べ床面積…約96,
700㎡、店舗面積…約
33,600㎡、最高建
物高さ…約20m、階数…
店舗棟は地上2階、立体
駐車場棟5階、駐車台数…
約3,300台です。

開発許可は平成21年
春頃で、第一期の供用開
始は平成22年夏頃の予定。
続いて第2期の供用開始
は平成23年、第3期は平
成24年の予定です。

主な質疑応答

問 竜王インターチェン
ジ前の国道477号の交
通渋滞は心配ないか。

答 国道477号の竜王
インターチェンジ出入口
から県道竜王石部線の交
差点までの間は3車線に
し、インターチェンジ方
面からの左折車は、信号
機の指示なく左折優先で
走行出来るようになりま
す。右折車については右
折溜を長く設けられるの
で、スムーズに車が流れ
る予定です。



問 国道477号の希望が丘団地出入口に信号機設置の考えは。

答 県に要請しています
が、なかなか設置の順番が廻ってきません。

主な意見

インターチェンジ周辺の開発を考えたとき、交通渋滞が予測されるため、希望が丘団地より国道477号に出入りする所に、信号機を設置出来るよう、県に強く要請をしていた
きたい。

中心核づくりとまちづくり交付金事業について

総合庁舎周辺地区で計画をされている商業施設整備等の開発について。
事業主体・開発造成主体は（株）平和堂で、事業希望地は小口地先の総合庁舎前で、21,662㎡が対象です。商業施設用地は約19,600㎡、町道等拡幅用地は約1,022㎡、公民館拡張用地は約1,000㎡です。

施設・業種構成は、新鮮等日常生活用品や日常生活サービス機能などの配置を優先し、あわせて行政サービスとの融合を図る。中心核全体との相乗効果を図れることを基本とされています。

主な質疑応答

問 地元商工会も活用出来るよう平和堂と協議し、

にぎわい広場などを設けられないか。
答 今後協議の中で進めていきます。

主な意見

中心核づくりの商業施設については、地権者および地元商工会の皆さんに対して十分話し合いを行い、理解が得られるようにされたい。

合併調査特別委員会

委員長 蔵口 嘉寿男

合併調査視察研修

去る、2月13日に三重県伊賀市で視察研修を行いました。

伊賀市は、平成16年11月に一市三町二村が合併し、三重県北西部における人口102,550人の中核都市として現在に至っています。

合併後、3年を経過した現在、財政は依然として

各自治会および各団体等での意見集約状況

30自治会、5団体で総計948人の参加があったことや、合併について推進あるいは慎重に進めるべきなど様々な意見が出たと報告されました。

市町合併推進検討会議の提言

3月7日、町長に提言書が提出され、その写しが配布されました。

提言後における市町合併にかかる町の方針と今後の取り組みについて

山口町長は、「合併問題について以前から財政状況を含め真剣に議論してきた。国、県等の状況を考えると、竜王町が20年先あるいは30年先にやっていけるのか。合併するには時期が大切である。市町合併推進検討会議の提言を真摯に受けとめ、合併についての判断をしていきたい」との発言がありました。

議会広報特別委員会

委員長 貴多 正幸

本委員会は、12月27日、1月8日委員全員出席、1月16日委員1名欠席のもと委員会を開催し、14期議員となつて初めての議会だより142号を2月1日に発行しました。

また、平成20年第1回定例会開会中の3月6日に委員1名欠席のもと、議会だより143号の編集会議を開催しました。今後も委員それぞれが協力しながら、町民に親しまれる、わかりやすい議会だよりの発行に努めてまいります。



伊賀市役所にて

議会運営委員会

委員長 岡山 富男

本委員会は、1月23日午後1時より平成20年第1回臨時議会に提出される提案事件について説明を受けました。

今回提案される案件は、条例の制定1件、一般会計・特別会計の補正予算3件、計4議案であります。

2月28日、午前9時より平成20年第1回定例会に提出される提案事件について説明を受けました。

今回提案される案件は、条例の制定及び一部改正



12件、一般会計・特別会計の補正予算7件、新年度の一般会計・特別会計の予算9件、町道路線変更1件、計29議案であります。また、陳情3件の処理について協議しました。

議会開会中の3月6日、一般質問19問について、それぞれ協議しました。また、3月12日追加提出案件として条例の一部改正1件、意見書1件の処理について協議しました。

議会傍聴記

竹山 勉

平成20年第1回定例会第4日の3月19日、一般質問を今回初めて傍聴させて頂きました。昨年より夜間の議会開催も行われるようになり、その配慮は私達住民にとって少し身近になったように感じます。今回の議会は竜王町の合併や町長選について出馬の質問があるであろうし、多くの傍聴者が来られていると思います、開会までに傍聴席に着きました。しかしながら、今回は有線放送による生放送の効果があったのか、傍聴に来られている方はそれほど多くはありませんでした。節目の議会なのに住民の方は関心が薄いのでしょうか。「開かれた議会」「親しまれる議会」にご尽力頂いている運営委員会に申し訳なく、もっと多数の傍聴者の参加を望みたいです。

多くの内容が住民にとって本当に身近なところの要望内容でした。初めて議会を目にした私にとっては「地元推薦議員さんの一般質問だけにあって地域に密着した内容だなあ」と言うのが正直な印象でした。聴かせて頂いた内容では産建部門の質問が多かったのですが、その回答は町単では困難な内容が多く、県への要望という回答に終わっていました。住民の期待はやはり小さな自治体では無理なのでしょうか。

一般質問の傍聴だけでは議会内容を把握することは出来ません。専門的また細部に渡っての質問等は議会各委員会がされているものと判断し、「議会だより」等を拝見したいと思っています。

今、竜王町の行政運営は数多くの課題が山積していると聞いております。議会におかれましては、長期的かつ広域的な視線に立って、将来の竜王町の姿を住民と共に築き上げて頂き、町の発展に繋げてもらうことを期待致します。

編集後記

緑豊かな大変過ごしやすい季節となりましたが、皆様方はいかがお過ごしでしょうか。

最近の新聞やテレビを見ていると、ガソリン税に伴う道路特定財源問題、年金の記録問題、中国製冷凍食品毒物混入問題、地球温暖化問題等々暗いニュースばかりであります。

こうした中で、我が竜王町においては竜王インター周辺の商業施設の開発、役場周辺の中心核づくり、岡屋地先県有地の開発など多くの課題がありますが、竜王町にとっては重要な計画であります。

これらの計画を早期に進捗するとともに、住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを忘れてはならない。今後とも竜王町議会にご支援いただきますようお願い申し上げます。

議会広報特別委員会

委員長 貴多 正幸
副委員長 大橋 弘
委員 岡山 富男
山添 勝之
岡司 重夫
小森 重剛